



▲取材に答える黒崎時安さん(中央)

黒崎さんは、育った環境に恵まれず、食(食べる)こともやっとの生活の中、ご自身の力で人生を切り拓いて生き抜いてこられました。黒崎さんは年代と年齢を書き込んだノートを見ながら、記憶を手練りさせるように話し始めました。時折、当時の資料写真などを見ながら、劇団の方たちと確認し合い、話が弾んでいきました。いつの間にか、想いが溢れ出たかのように、黒崎さんの手は動き続けていました。苦しい思いの積み重ねだった人生に光が当たった喜びを感じておられたのではないのでしょうか。

劇団いぶき団長の河合さんは、この世代の方たちの経験を、単なる体験話でなく、憲法25条との関わりで台本化したとお話されました。厳しい差別の中、必死で生きてきた人生がふくろうの郷にはたくさん詰まっているのです。黒崎さんも、ぼつぼつと聞かせ頂いた話をまとめて5周年記念誌に記載したことがきっかけで、今回の取材へと繋がったのです。改めて、私たちは入居者さんとの貴重な時間を共有している

のだということ、またふくろうの郷の役割の大きさを感じました。
取材が後には、河合さんから、アロママッサージのプレゼントを受け、みなさん気持ち良さそうにマッサージと香りを楽しまれました。
翌日は、手話狂言を披露して頂きました。豊かな表現・表情に引き付けられ、みなさんじっと見入っておられました。黒崎さんもご自身の人生がどんなふうに表示されるのか、台本が完成する日を楽しみに待つておられます。



▲手話狂言「附子」

黒崎時安さんの人生を訪ねて 岐阜ろう者劇団いぶきが来所 11月6・7日岐阜にて公演予定

ふくろう新聞

<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551
ホームページ
<http://hyoufuku.main.jp/>
メール
info@hyoufuku.main.jp

中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンターの二期工事に先駆けて、排水路の埋め込み工事が始まりました。二期工事の概要については来月のふくろう新聞でお知らせします。

ふれあいセンター1周年の集いのおしらせ

とき：7月13日(土) 13:30~15:30
場所：中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター
内容：①平成24年度活動・経過報告

- ②おたがいさま中川原利用者・応援者との意見交換
- ③今後の事業計画について

※当日喫茶をふれあいセンターにて用意いたしております。
お時間のある方はぜひともご利用ください

7月でふれあいセンターが開所してから1年を迎えるにあたり、「ふれあいセンター1周年の集い」を開催することになりました。

中川原町内にお住まいの皆様はもちろん、応援いただいている大勢のみなさまに、この集いへ参加いただけますよう心よりお待ちしております。

社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会

2012年度決算の特徴

- 2012年度の決算は、法人全体の経常収支差額(減価償却後)が、4,736万円(昨年度決算6,430万円、昨年比1,694万円減)となりました。なお、2,918万円(昨年比35万円減)の寄付金を除くと、本業で1,818万円(昨年比1,569万円減)と昨年度に比べてほぼ半減しました。淡路ふくろうの郷の介護保険収入の伸び悩み(前年比422万円減)、法人全体での人件費増(1,417万円増)、中川原ふれあいセンター事業での赤字(約1,000万円)が主因です。昨年に続いて、多くの寄付を寄せていただいた方々と、厳しい経営状況の中でも、全職員の努力、入居者、家族、地域の皆さんの多大なご協力に、心から敬意と感謝の意を表します。
- 介護保険収入は、昨年比99%(417万円減)、収入合計は、昨年比99%(273万円減)となりました。支出は、人件費が昨年比100%、賞与は、昨年比95%(168万円減)、事業費は、昨年比95%(278万円減)、事務費は、昨年比100%、減価償却費減(462万円減)で、支出合計は昨年比97%(1,005万円減)となりました。その結果、年間の収支差額は、2618万円の黒字(昨年比732万円増)となりました。

(法人事務局長:朝倉)

2012(平成24)年度決算報告

| 勘定科目 | | H23年度決算 | H24年度決算 | 備 考 |
|----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|
| 経常活動による収支 | 収入 | | | |
| | 寄付金収入 | 29,535,957 | 29,189,879 | |
| | その他受託金収入 | 20,995,000 | 20,800,000 | 淡路センター |
| | 助成金 | 13,964,652 | 12,808,639 | 助成金・補助金他 |
| | 補助金収入 | 3,680,000 | | おのころの家 |
| | 介護保険収入・利用者収入 | 339,635,379 | 332,951,689 | ふくろう |
| | 自立支援費収入 | 32,084,404 | 33,780,000 | おのころ就労支援B |
| | 事業収入 | 4,034,898 | 7,788,110 | 就労支援B事業収入、センター(通訳員)他 |
| | 雑収入 | 7,421,987 | 9,174,016 | 職員給食費、見学協力金他 |
| | 受取利息配当金収入 | 281,605 | 267,847 | 銀行関係受取利息 |
| 経常収入計(1) | 451,633,882 | 446,760,179 | | |
| 支出 | 人件費支出 | 252,778,884 | 263,356,282 | 職員給料・社会保険料・中退共他 |
| | 事務費支出 | 21,174,141 | 21,387,255 | |
| | 事業費支出 | 68,381,574 | 70,818,859 | |
| | 借入金利息支出 | 5,437,500 | 5,062,500 | 福祉医療機構利息 |
| | 経常支出計(2) | 347,772,099 | 360,624,896 | |
| 経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 103,861,783 | 86,135,283 | | |
| 施設整備取支等 | 収入 | | | |
| | 施設整備等補充金収入 | | | |
| | 支出 | | | |
| | 固定資産取得支出 | 287,700 | 11,354,380 | おのころ・ディサービス改装費 |
| | 施設整備等取支額(4) | -287,700 | -11,354,380 | |
| 財務活動による収支 | 収入 | | | |
| | 積立金取崩収入(5) | | | 施設整備等積立金取り崩し |
| | 支出 | | | |
| | 施設整備等積立金支出 | 60,000,000 | | 施設修繕等積立金 |
| | 借入金支出(6) | 33,336,000 | 33,336,000 | 福祉医療機構・ふるさと融資返済(元金) |
| 特別損失(7) | | | | |
| 財務活動収支差額(8)=(5)-(6)+(7) | -93,336,000 | -33,336,000 | | |
| 予備費(10) | | | | |
| 当期資金収支差額合計(3)+(4)+(8)-(10) | 10,238,083 | 41,444,903 | | |
| 前期末支払資金残高 | 254,145,087 | 264,389,170 | | |
| 当期末支払資金残高 | 264,383,170 | 305,828,073 | | |

家族の会を開催

5月23日、第9回淡路ふくろうの郷家族の会が開催されました。5家族7名の参加があり、年間計画や予算について確認しました。

ご家族から「ユニット内で音楽を流したり入居者の太鼓楽団を作ったりどうか」等の積極的なご意見をいただきました。

また、布地もたくさん頂きました。作業で使わせていただきます。



八木事務長お疲れ様でした



命応援していただいた地域の皆さま、淡路聴力障害者協会、島内各手話サークル、OHPの会、兵庫県内の聴覚障害・手話関係者、各入居者、ご家族、職員の皆さまに公私にわたりまして大変お世話になりました、ありがとうございます。おかげさまで、ふくろうの郷や法人の運営も軌道に乗り、順調に発展、いくつもの成果を残すことができました。

私は家庭の事情により奈良の実家に帰ることになりましたが、今後は、法人評議員として会議や諸行事で淡路に寄せていただきます。

今後も引き続いての法人・淡路ふくろうの郷へのご支援をお願いして退職のごあいさつとさせていただきます。(八木勝光)

寺岡初枝さん 祝102歳

素晴らしきプレゼント ～2年ぶりに妹と再会～

5月18日(土)に寺岡初枝さんと娘さん、ふくろうの郷の職員で外出に行きました。その時の想いを娘さんに寄稿していただきましたので、掲載させていただきます。

5月5日に満102歳を迎えた母。

2年前の100歳の時は盛大なパーティーをしていただきました。ありがとうございます。

今年は又、家族にも出来ない最高に素晴らしいプレゼントをして頂きました。母は6人兄妹でしたが、今は神戸に住む94歳の妹の二人になりました。

日頃から「叔母(妹)に逢いたい、逢いたい」と申しております。

このたび思いがけず、ふくろうの郷様から神戸へ連れて行ってあげましょう...と言っていたので、竹原さん、山西さんにお世話になり、母と叔母が2年振りに逢うことが出来ました。



▲ご家族の皆さんと...

母はもちろんの事、叔母も私も感謝感激でございました。ほんとうにほんとうにありがとうございました。お礼の申し上げます。母も叔母もこの喜びでまだまだ長生きが来そうです。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

長女 寺岡節子

男の料理講座

手慣れた包丁とばき



5月22日は男の料理講座で、全ユニットの男性入居者が集まって昼食の丼を作りました。今回は、他人井・天井・ロコモ井の3つの選択制です。

花房豊治さんは物静かで、いつもお部屋で過ごされる事が多く、行事にもめったに参加されませんが、男の料理講座に誘うと「いい。いい。」と拒否されませんが、車椅子を持っていくと花房さんの方から乗って下さり、料理講座に参加されました。

花房さんが選んだのはロコモ井でした。花房さんの役割は目玉焼き用の玉ねぎの輪切りとレタス千切り、トマトをさいの目に



▲花房豊治さんの丼づくり

切った時の包丁さばきはとても手馴れていて、昔おうちで自炊されていたのかな?と想像しました。ハンバーグを丸めて焼いたりされました。出来あがった目玉焼きやハンバーグ、サラダを盛りつけてロコモ井完成。無口な方なのであまり言葉で表現されませんが、表情を見るといつも食べるご飯より美味しそうに食べられていました。

各ユニットの男性入居者は数かずつしかおられないので、皆さん久しぶりだったり、初めて合う顔だったり、お料理することもごほんを食べることもすべてが新鮮です。

いつもと違う場所で違うメニュー、自分たちで頑張つて作ったご飯!とても新鮮な気分でお食事を楽しまれました。普段は奥様に「引ッ込んで」と言われてしまう方も、今日は伸び伸びと丼づくりに活躍されていました(笑)。

6月の料理講座はピザを作る予定です。参加者に楽しんでいただけたらと思います。(生活援助員:田中愛里)

いつもありがとうございます

トクごます

淡路ふくろうの郷では多くのボランティアの方々のご協力でいろいろなことを行っています。

4月から5月にボランティアの方にご協力いただきました内容について紹介いたします。

4月

7日 獅子舞い

9日 ふくろう理髪店 書道講座

10日 カクテルバー

16日 絵手紙講座

19日 手芸講座

23日 書道講座

5月

3日 畑(草刈り、夏野菜植え付け)

13日 ふくろう理髪店

15日 カクテルバー

16日 リリアン会

(盲ろう者交流会)

21日 絵手紙講座

28日 書道講座

31日 外出レク同行

*春空を元気に泳いでいたこいのぼりも地域の方のご協力です。

おのころの家



〒656-0025
洲本市本町3丁目1-10
清水マンション1F
TEL・FAX 0799-26-0956

手話の出会いと

小嶋朝子さん(75歳)



▲ 袋や小物などを作っている。

肩こりから歯ぐきがはれ、四十度の高熱のため三十五歳で失聴。世の中で聞こえないのは私一人と自暴自棄に。でも子ども達の事を思うと、頑張らなくてはと思ひ直した。そんな時、知人の紹介で手話の世界へ。初めてろうの人を見て、私以外にもこんなに大勢聞こえない人

がいるんだと分かり、前向きになれた。息子に「お母さん、手話を覚えてだれと話をするの」と言われたが、手話を覚えれば、聞こえなくても話ができると思ひ頑張つて覚えた。

自己負担金痛いけど 毎日通所は楽しい

午前中、洲本市の文具店に勤め、午後は、家で縫製の部分縫いの内職をしていたそうです。余暇を利用して、はぎれや着物をリサイクルして袋をつくり、ろうあ協会のバザーや淡路ふくろうの郷で販売されていました。文具店を退職された後、平成二十年よりおのころの家に通われています。初めは、午前中施設外の清掃を週三回午後は袋などの小物作りをされています。障害者自立支援法により、自己負担金が発生しました。一ヶ月のお給料が自己負担金を下回る月もありましたが、それでもおのころの家に来てもみんなと交流できるのが楽しみと来られています。



▲ 地域ふれあいまつりでバザー参加(前列左)

のおかず詰めの仕事が見つかり、週五回午前中だけ行かれています。自己負担金を支払っても、僅かですが手元に残るようになりました。「これぐらい、残れば嬉しいね。」と笑顔で言われています。午後は、布で袋や小物などを作っておられます。

縫い物の達人

また、年に一回、地域の老人会の作品展があるので、着物をリサイクルして、スーツやバックを作り出展されています。行事の時に着ておられました。自分の体型にぴったりと合っていてさうと着こなしておられました。

(支援員 藤本)

おのころ屋



〒656-0025
洲本市本町7丁目3-41
営業日時：月～金 9:00～18:00
TEL・FAX 0799-22-6133

菓子パン製造が

一番楽しい

一昨年におのころ屋を始めた時の通所者は2人。Aさんは一般就労をやめ自宅の手伝いをしていました。Bさんは子育て中で午前だけ一般の会社でパートの仕事をしていました。

最初、「就労継続支援B型事業所」とは、工賃も安いし、雇用保険もないので不安でいっぱいだったそうです。もし



焼き菓子を製造しているスタッフ



通所者みんなで心を込めて
焼いた美味しいパン

かしたらおのころの家に利用されているのではないかとまで思っていたといひます。その後、繰り返し職員から説明を受けたり、分からない事や疑問は何度も尋ねて話し合いを重ねるうちに、徐々に不安もなくなってきたよう、聴覚障害者が社会と関わりを持ち安心して仕事ができ、多くの情報を得られる場所と巡り合え、同じ障害を持つ仲間と働ける喜びを見いだせたようです。そして、自分で作ったクッキーやパンが売れ、技術も向上してきた今、考え方も変わり「人生で最高の職場や仲間巡りに巡り合えて毎日仕事に来るのが楽しい」と言っているようになりまし

(職業指導員 岡本)



▲筆談を見ながら説明を聞く参加者

5月23日、京都府京田辺市にある「さんさん山城」を見学させていただきました。この施設は聴覚障害者や手話サークル、難聴者協会、要約筆記の会などが、長年運動し、4年前に京都府の農業総合研究所の建物を借り、地域活動支援センターを、2年後には就労継続支援B型事業を開所したものです。まずは施設の概略をお聞きし、地域活動支援センター

「さんさん山城」を見学して

第2回社会生活教室

淡路聴覚障害者センター
 洲本市港 2-26
 洲本市健康福祉館 3階



▲茶畑での作業を見学

での交流とお茶摘みの2班に分れて見学しました。

仲間がとにも学び合える場所

地活では、午前中はビデオを見て学習したり、午後は作業をしたり、雑談するなど思い思いに自由に過ごしているのとことです。手話が飛び交い、難聴者にはノートテイクでの支援があります。通所されている方はみんな元気で明るく「100歳まで生きるんや。聞こえない仲間が集まれる場所ができて良かった。」と話されていました。

昔馴染んだ農作業をもう一度

「さんさん山城」の事業のもう一つの特徴である農業。お茶以外にもあちこちのハウスでイチゴやイモ、キュウリなど手広く野

菜を作り販売しています。

参加した盲ろうの奥井さんは「見えないが、お茶の香りも良く見学を楽しめたし、職員さんが触手話で対応してくれた。」と配慮が行き届いていたことに感動。

巖さんは、「ろう者が楽しそうに作業をしているのを見て、両親が農業をしていたことを思い出して、自分も畑仕事をやりたい気持ちが出てきた。おのこの家が中川原に移転したら、是非野菜を作り販売したい。」古山さんは、「亡き夫と長年農業をしていた。また野菜つくりを是非やりたい。」と。お2人とも通所中のおこの家で小物作りなど頑張っていますが、「さんさん山城」を見学したことで、さらに野菜つくりへの意欲も出てき、次の夢に繋がったようです。

淡路に地域活動支援センターを

おこの家の橋詰所長は、「淡路では老人ホームや仕事を目的とする事業所はあるけれど、さんさん山城のようにろう者や難聴者が気軽に集え、生活のことを学び合ったり、情報交換できる地域活動支援センターが必要との思いを強くした。」と。参加した方それぞれ学びを深め次の目標が見えた見学でした。

伝える気持ちを学んで

手話奉仕員養成講座

今年度も養成講座が淡路島内5会場で5月より一斉にスタート。計59名の新しい受講者が学んでいます。

洲本会場ある日の講座

たまたまセンターを訪れたろう者に参加してもらい、手話を学び始めたばかりの受講者に、どうしたらろう者に言葉が伝えられるかジェスチャーで表現してもらいました。

ろう者は次々にホワイトボードに物語りを語るように絵で表していきます。そこにはろ

う者の生活が語られています。伝わりのふくろみを

「一つの言葉からでもさまざま表現があるという楽しさを知った。」と受講者の感想です。これからもたくさんの方に参加してもらい、生きた手話を学んでほしいと考えています。



▲ろう者に伝わるよう工夫する受講者

お知らせ

- 6月27(木) 10:30~17:00
巡回相談：淡路市一宮地区
午前：一宮事務所 午後：家庭訪問
- 6月28日(金) 10:00~17:00
~こころのケア相談~
1人で悩まずに話にきてみませんか?
- 7月4(木) 10:30~15:00
ミニ交流会
(難聴者対象)
長沢あじさい園
- 7月18(木) 10:30~17:00
巡回相談：南あわじ市南淡地区
午前：南淡公民館 午後：家庭訪問

お問い合わせはセンターまで
TEL:0799-24-3850
FAX:0799-26-1175

続・地域を語る

第54号

人形芝居の文化映画

中野人形座

昭和十五年八月十九日の支那事変第四年目の今日国民が凡ゆる部門に於て大政翼賛の誠を致さんと近衛首相が高度国防国家体制にあるとして、政治、経済、教育、文化等に凡ゆる国家国民生活の領域に於ける新体制確立の要請があるとして公益優先の精神に帰一せしめんとする超政党的国民運動として、直面する大試練を突破して、皇運扶翼の重責を完うせんとするもので、これによって大政翼賛会が出来て、横のつながりとして大政翼賛会文化連盟が生まれ、各府県単位に凡ゆる文化活動が統制された。

こうした情勢下の昭和一六年三月、大阪市保田商会映画班阪本為之氏が、淡路島民の勤労生活を撮影して、広く全国民に

知らせると共に出征軍人の慰安にする目的にて、中野篤一郎邸宅にて夜間浄瑠璃の稽古場より安坂大歳神社にて神舞の奉奏及増産に対する森花美市氏の麦畑耕作の場面と、中川原国民学校校庭での淡路操人形の掛小屋の造り方から、出征軍人遺家族慰安人形芝居の実演と、その人形芝居用具の運搬方等の映画撮影をしたもので、この映画は出征軍人慰安として、戦地にて映写されたものである。

本映画に出演されたのは、細川雄一、岡田石平、高田政一、細川惣市、島田嘉一郎、沖田佐一郎の方々であった。



※中川原村史より

中野人形座完

地域を歩く

厚浜の喫茶カプチーノへ

5月14日、地域交流会会長の北岡さんと、入居者14人でカプチーノへお邪魔しました。カプチーノでは現在、障害のある5名の方がお仕事をされています。店長の柿原さんより、障害者の方たちと一緒に働き始めたきっかけや、仕事内容についてお話を頂きました。その後、実際に働いている方たちお一人ずつに自己紹介をして頂きました。得意な仕事や働いて良かったことなど、2週間前から考えて、この日のために練習を重ねておられた

と聞いて、入居者さんたちは顔をほころばせて、若い店員さんたちの話を聞いておられました。講演の後には、おいしいコーヒーとケーキを頂きました。ケーキを選ぶにはショーケースまで見に行かなければならなかったのですが、足の悪い入居者さんのために、店長さんが写真付メニューを持ってこれられ、その人にあつた方法を考えて対応して下さる気が配りが、みんなですいしよに働けるお店作りを支えているのだと感

じました。お話を聞ききた店員さんたちが運んでくれたきれいなケーキに皆さん大喜び。テラスの席で、初夏の風に吹かれながら、ゆつくりとお話ししながらお



茶の時間を楽しまれました。これからも地域に出かけて、人々や地域と親しむ交流を重ねていきたいと思えます。(生活相談員：小林)

お知らせ

法人・淡路ふくろうの郷のホームページが新しくなりました

ホームページ <http://hyoufuku.main.jp/>
メールアドレス info@hyoufuku.main.jp

バーベキュー大会のお知らせ



とき:7月13日(土)
場所:淡路ふくろうの郷

毎年恒例のバーベキュー大会が、中川原高齢者・障がい者ふれあいセンター一周年の集いに引続いて開催されます。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。



作品介绍 ふくろう大学 手芸講座にて

▲「鯉のぼりできたよ～」と柴木義嗣さん(68歳)